

福井労発基 0316 第1号の2
令和4年3月16日

関係者 各位

福井労働局長



令和4年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について

日頃より労働安全衛生行政の推進に格別の御配意を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、職場における熱中症予防対策については、令和3年4月20日付け基発0420第3号「職場における熱中症予防基本対策要綱の策定について」に基づく対策をはじめとして、毎年重点事項を示して、その予防対策に取り組んできたところです。また、平成29年からは「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を実施し、各防災団体等と連携して熱中症予防対策に取り組んできたところです。

昨年1年間の全国の職場における熱中症の発生状況（1月14日現在の速報値。別紙参照）を見ると、死亡を含む休業4日以上之死傷者547人、うち死亡者は20人となっています。業種別にみると、死傷者数については、建設業128件、製造業85件となっており、全体の約4割がこれら2つの業種で発生しています。また、死亡者数は、建設業、商業の順に多く、「休ませて様子を見ていたところ容態が急変した」、「倒れているところを発見された」など、管理が適切になされておらず被災者の救急搬送が遅れた事例が含まれています。入職直後や夏季休暇明けで明らかに暑熱順化が不十分とみられる事例、WBGT値を実測せず、その結果としてWBGT基準値に応じた必要な措置が講じられていなかった事例等も見られています。

また県内においては、令和3年は職場での熱中症による死亡災害こそ発生していないものの、熱中症により療養給付を受けた労働者は55名で、うち屋内での作業中に11件発生しています。業種別では製造業、建設業のみならず、商業、道路貨物運送業、農業、警備業、ビルメンテナンス業で発生しています。

については、令和4年の本キャンペーンを、別添の令和4年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」実施要綱（以下「要綱」という。）のとおり実施します。

貴会におかれましても、キャンペーンの趣旨を踏まえ、会員事業場等に対し、その周知を図っていただきますとともに、各事業場において確実な取組が行われますよう、特段の御配慮をよろしくお願い申し上げます。

なお、事業場等への周知に当たっては、十分な新型コロナウイルス感染症予防対策を実施する等の御配慮をお願いいたします。